

生き生きと生活する子どもたち

町立せいらう幼稚園



4月から、新しい子育てシステムに移行し、町立としては唯一のせいらう幼稚園が開園しました。子どもたちは、笑顔いっぱい、生き生きと生活しています。先生方は、子どもたちの発達に応じて、『幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力』を育成していけるように丁寧な指導に取り組み、子どもたちは遊びや生活の中で様々な学びを深めています。

3歳児



「どの道を通るといいかな」



思いっきり体を動かして遊ぶ姿
『生活する力 ②健康な心と体』



「あのね、あのね」



「先生と一緒に砂のケーキを作ったよ」

聖籠町『幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力』

生活する力	自分のことは自分でしようとする	①自立心
		②健康な心と体
		③道徳性・規範意識の芽生え
		④言葉による伝え合い
かかわる力	思いを伝え協力し合う	⑤協同性
		⑥社会生活との関わり
		⑦自然との関わり・生命尊重
学ぶ力	考える・進んでやってみる	⑧思考力の芽生え
		⑨豊かな感性と表現
		⑩数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

4歳児



「準備も自分たちでできるよ」



「先生の説明をよく聞こう」



「心を込めてプレゼントを作るよ」



「こいのぼりが上手にできたよ」

試してみたい気持ち
『学ぶ力 ⑩思考力の芽生え』

「今度は、園庭のこいのぼりみたいに泳がせたいな」
→ビニール袋のこいのぼりを作ってみよう
→風を受けて泳がせてみよう



「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、遊びや生活を通して育っていきます。



5 歳児



「作り方の順番をしっかりと聞こう」



「説明通りに完成させるよ」



「おいしいじゃがいもになあれ」

考えを出し合い、協力する姿

『学ぶ力 ⑧思考力の芽生え』

『かかわる力 ④言葉による伝え合い ⑤協同性』

「みんなで力を合わせて、大きな山を作りたいな」

- 「崩れないように、水をかけよう」
- 「トンネルをいろいろな方向から掘ってつなげよう」
- 「魚(おもちゃ)が流れるように、トンネルに高さをつけよう」



幼児教育センターからのお知らせ

『聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成』リーフレット 町立・私立園3~5歳児のご家庭に4月に配布いたしました



幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、小学校以降の教育の土台となるものです。聖籠町では、家庭と園と地域で連携して「生活する力」「かかわる力」「学ぶ力」を育てていきたいと思えます。

リーフレットでは、『幼児期から小学校への接続に向けて育てたい力』の具体的な姿も明示しており、町立・私立各園にも掲示し日々の指導に活かしています。



※リーフレットは、町ホームページ内のトップページ左側の「聖籠町教育委員会」のページ下段の『聖籠町の幼児教育 未来を創る子どもの育成』からご覧いただけます。
右記 QR コードを読み取ることでもご覧いただけます。



聖籠町教育委員会

幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて

町立せいらう幼稚園・私立認定こども園・小学校 合同「研究保育協議会」を開催しました



町立せいらう幼稚園では、教育目標『豊かな心をもち、いきいきと遊ぶ子ども』の育成をめざして、「学びやかかわる力」を高める保育に取り組んでいます。

今年度これまで、せいらう幼稚園では指導力の向上と小学校への円滑な接続に向けて、初めて小学校教諭も交えた『町立せいらう幼稚園・私立認定こども園・小学校合同研究保育協議会』を開催しました。指導者には、幼児教育を専門とする新潟大学教職大学院の中島伸子教授をお招きしました。

6月7日「5歳児研究保育協議会」

協議題

- ◎せいらう幼稚園5歳児の砂遊びから『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が見られるところ』『小学校へのつながり』



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

自立心
健康な心と体
道徳性・規範意識の芽生え
言葉による伝え合い
協同性
社会生活との関わり
自然との関わり・生命尊重
思考力の芽生え
豊かな感性と表現
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

6月30日「3歳児研究保育協議会」

協議題

- ◎せいらう幼稚園3歳児の砂遊びから『何を学んでいるか』『教師が大事にしていること』『10の姿とのつながり』



- ①せいらう幼稚園での砂遊びの動画をもとに、教師の援助と子どもたちの様子を説明



- ②遊びの姿から、「学び」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」、「小学校へのつながり」を話し合い



③グループで話し合われたことを発表し合い、意見を共有



④新潟大学の中島教授から、「子どもたちの学び」と「幼小接続の大切さ」について御指導



3歳児・5歳児の学びと小学校へのつながり (協議内容より)

3歳児 砂遊びに見られた主な「10の姿」 (一部抜粋)



○自然との関わり

砂や水の特性や感触に親しむ。

○思考力の芽生え

砂に混ぜる水の量や道具を変えて試す。

○豊かな感性と表現

泥だんごに水を掛けて崩れる様子を「アイス！」

○道徳性の芽生え

使った道具を洗い仕分けをして片付ける。

5歳児 砂遊びに見られた主な「10の姿」 (一部抜粋)



○思考力の芽生え

水が浸み込まずに流れる方法を考え繰り返し試す。

○自然との関わり

砂や水の特性を活かす。

○自立心

水が流れるまであきらめない。

○協同性

協力してつくりあげる。

○言葉による伝え合い

アイデアを出し合う。

小学校へのつながり



・小さな困難があっても最後までやり遂げる力。

・なぜ、どうしてと考える力。

・友達と協力してグループ活動や仕事を行う。

・生活科や理科の自然の仕組みへの関心。

・自分の気持ちや考えを表現する力。

園での遊びは、たくさんの学びと経験の場です。そして、小学校の学びや生活につながっています。せいろ幼稚園では、さらに10月13日(木)に、4歳児についての「研究保育協議会」を開催します。

お問い合わせ 教育未来課 (内線305)